別15
21

19-6

天保九戊戌年曆

南都陰陽師

山村左門

國立圖書館
昭和 23.5.28
購入
圖15-21-19

国立国会図書館　タイトル『[南都暦]』　請求記号 本別15-21

ガラス使用

天保九年つちのえいぬ乃寛政暦　値心宿　年凡三百八十四日

大さいいぬの方　けん方こむう　ひて方こ　仏ほとけをそこく

大あやうくんむまの方　こう　三年　まつ

大おんさるの方　けん方こむう　ひて　さるん　と

こうとくおさの方　むうひて　ねずす

こむまのる方は　むうひて　ねずす

さいけうひじの方　むうひて　ねずす

さいもさるの方　むうひて　ねずす

さいのとうしの方　けん方こうのめ　とす

こうそうたべいぬの方　むうひて　ねずす

へうひさるの方　むうひて大小ともに　ちくるいのかとめす

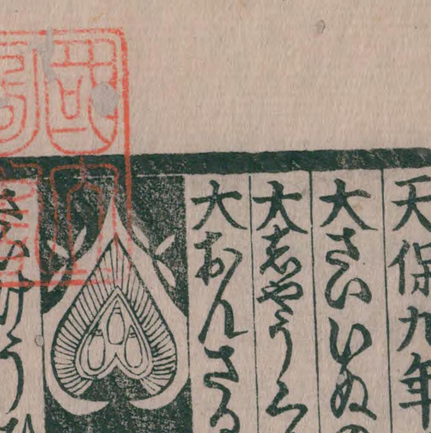
正月小　建　甲寅　金神

一日きのえいぬおさむ	火	吉書始	
二日きのとのいひく	火		
三日ひのえねとう	水		

室宿値月　牛宿金曜値朔日

土公　春八ヶ所　秋八井　夏ハうと　冬ハにわ

正月小	二月大	三月小	四月大 閏四月小
五月小	六月大	七月大	八月小
九月大	十月大	十一月小	十二月大



ことし日ちひそ

四つ　ひのえうし　ろ
五つ　つちのとうのそく　士
六つ　つちのえうろ
七つ　つちのとうろ
八つ　かのえうのくさん　金
九つ　かのとうのーむま　ろ
十つ　きのえうのひじ　やる　木
十一つ　きのとうのーさる　やる
十二つ　ひのえうのうし　ろ　火
十三つ　ひのとうのーね　ひく
十四つ　つちのえうのいぬ　おさん　土
十五つ　つちのとうのーね　ひく
十六つ　かのえうのうし　ろ
十七つ　かのとうのーとら　ろ
十八つ　きのえうのうのそく　木
十九つ　きのとうのーとら　ろ
廿つ　きのえたつのこく　ちろ　天一天上
廿一つ　きのとうのーむま　さん
廿二つ　ひのえうのひじ　ろ　火
廿三つ　ひのとうのーさる　やる
廿四つ　ひのえうのとう　あま
廿五つ　つちのえうのいぬ　おさん　土
廿六つ　つちのとうのーいぬ　おさん　木

立春正月廿ろくさるの七刻八谷の出より日入迄昼十三刻半　夜五十六刻半　六ツ半　六ツ半　昼十八刻半余　夜五十一刻余

大こよみ冊倉大ぐるち　日
こよみ冊倉天火ろうやくのるくは　ここちひこ井ろうこう
ろく　日ろく　ゆうこ
大こよみ冊倉大ぐるち　日
大こよみ冊倉天火ろうやくのるくは　ここちひこ井ろうこう
ろく　日ろく　ゆうこ
大こよみ冊倉大ぐるち　日
大こよみ冊倉天火ろうやくのるくは　ここちひこ井ろうこう
ろく　日ろく　ゆうこ
大こよみ冊倉大ぐるち　日

国立国会図書館　タイトル『[南都暦]』　請求記号　本別15-21
ガラス使用

雨水正月中ひの四刻日の出より日入まで 昼四十五刻半余 夜五十四刻余 六より六まで 昼五十刻半余 夜四十九刻余

廿七 かのえね ひらく 土 弥より一母倉ふく日天火らうしやく
廿八 かのとうし とづ 月とく五むし日ことちのそのりのうちよし
廿九 みづのえとら たつ 金 大みやうつめとりあさ中のさいり

二月大 建 乙卯 壁宿 女土よう

一日 みづのとう のぞく 金 弥よりゝさそゝそすりそりより
二日 きのえたつ みつ 火 大みやうふく日うくしそてのりはじ
三日 きのとみ たいら 大みやうちゝう白めつりん地火けんふくよし
四日 ひのえむま さだん 水 弥より大みやう月とくいちくらはじ
五日 ひのとひつじ とる うくいそそより
六日 つちのえさる やぶる 土 おさ中のさいり
七日 つちのととり あやぶ 十
八日 かのえいぬ なる 金 ●
九日 かのとい おさん さいりゝさ天おん母倉月とくちゝう日
十日 みづのえね ひらく 木 八せんのそうゝめ弥ばし天おん母倉天火らうしやく
十一日 みづのとうし とづ ま日 天おんさことちひゑ
十二日 きのえとら たつ 水 くゑ日ふく日
十三日 きのとう たつ くゑ日ふく日天火らうしやく

啓蟄二月節今暁とらの一刻入日の出より日入まで 昼四十八刻 夜五十二刻 六より六まで 昼五十三刻 夜四十七刻

十四日 ひのえたつ のぞく 土 ま日 ●
十五日 ひのとみ みつ 十
十六日 つちのえむま たいら 火 ま日 弥よりゝ大みやう地火
十七日 つちのとひつじ さだん 弥ばし大みやう月とくちゝうひゝぜはじ

十八日 かのえさる とる 木 大みやう
十九日 かのととり やぶる 大みやうくゑ日ふく日
廿日 みづのえいぬ あやぶ 水 ま日 さことまきよし
廿一日 みづのとい なる 八せんのあらり母倉ちゝう日入ぞうさくよし
廿二日 きのえね おさん 金 天おん母倉月とくめつりん
廿三日 きのとうし ひらく ひうんぢゝる天おんふく日つめとりさゝうしよう
廿四日 ひのえとら とづ 火 天おんさことつめとりよう
廿五日 ひのとう たつ 天おん天火らうしやく
廿六日 つちのえたつ のぞく 木 社日 ●
廿七日 つちのとみ みつ 十
廿八日 かのえむま たいら 土 大みやう地火

春分二月中とらの六刻日の出より日入まで 昼五十刻余 夜四十九刻半余 六より六まで 昼五十五刻余 夜四十四刻半余

廿九日 かのとひつじ さだん 土 大みやうちゝいこふく日さくそれのうちはじ
卅日 みづのえさる とる 金 大みやう

三月小 建 丙辰 奎宿 危月よう

一日 みづのととり やぶる 金 大みやうあさ中のさいり
二日 きのえいぬ あやぶ 火 月とくゆゑてうとりそよ
三日 きのとい なる 母倉ちゝう日ふく日さくゑうしよ
四日 ひのえね おさん 水 母倉めつりん
五日 ひのとうし ひらく 大みやうめのさちつめとりよう
六日 つちのえとら とづ 土 天しやとゑうんよ
七日 つちのとう たつ 大みやうくゑ日天火らうしやく
八日 かのえたつ のぞく 金 ●
九日 かのとみ みつ 十
十日 みづのえむま たいら 木 弥より大みやう天おん大くゑ地火

清明三月せろひ巳の三刻六合の出より日入まで昼五十二刻半余夜四十七刻半六より六まで昼五十七刻半余夜四十二刻余

四月大　建　丁巳　婁宿　室火よの

穀雨三月中とうの八刻日の出より日入まで昼五十四刻半余夜四十五刻余六より六まで昼六十刻夜四十刻

立夏四月せろ今暁丑の五刻六合の出より日入まで昼五十六刻半余夜四十三刻余六より六まで昼六十二刻余夜三十七刻半余

国立国会図書館　タイトル『[南都暦]』　請求記号 本別15-21

ガラス使用

廿八 木
廿九 土
卅

小満四月中 うの三刻 日の出より日入まで 昼五十八刻半 夜四十一刻半 六より六まで 昼六十四刻 夜三十六刻

閏四月小

隨節用之 奎木 よう

日	曜
一	金
二	火
三	水
四	土
五	金
六	木
七	水
八	土
十五	土
十六	土
十七	火

十方ぐれ

芒種五月せつ とらの七刻 入 日の出より日入まで 昼五十九刻半 夜四十刻半 六より六まで 昼六十五刻半余 夜三十四刻半余

五月小 建

戊午 胃宿 婁金 よう

夏至五月中 さるの四刻 日の出より日入まで 昼五十九刻半余 夜四十刻余 六より六まで 昼六十五刻半余 夜三十四刻余

入梅

天一天上

八せんのはじめ

日	曜
十九	木
廿	水
廿一	金
廿二	火
廿三	木
廿四	土
廿五	土
廿六	金
廿七	火
廿八	水
廿九	土
一	土
二	金
三	火
四	水
五	土
六	金
七	木
八	木
九	金
十	土
十一	水
十二	火
十三	金

十四 ノ きのえ しし ちかる
十五 ノ きのえ のう あさん
十六 ノ ひのえ ころ あさん

土 ま日 冊倉きこうまめりつめとりこし
冊倉大ムるちいこのさちこし

小暑六月せろいの一刻入日の出より日入まで 昼五十九刻半 夜四十刻半 六まで 昼六十五刻余 夜三十四刻半余

十七 ノ ひのえ のこく ひくく 土 ムる日ちう日
十八 ノ つちの ひま とろ 火 ま日 ● 大ミゆう ムる日ふく日
十九 ノ つちの のひし とろ 大ミゆう ムさうり さるまきこし
廿 ノ うの さる のそく 大ミゆう ちいこ 井ゑりこし
廿一 ノ うの のとり ころ 木 大ムる 地火
廿二 ノ ミのえ いぬ さん
廿三 ノ ミのえ のい 水 ま日 八ぜんのあさりちう日
廿四 ノ きのえ ね とる 金 天おん月とく きこりしきころの付
廿五 ノ きのえ のうし やみ
廿六 ノ ひのえ とろ あやふ 火 ま日 天おん冊倉けんふくつめとりこし
廿七 ノ ひのえ のう ちる 神ゑ天おん冊倉天火ちうしゆく
廿八 ノ つちの ころ あさん 天おん五ひ日ふく日めろりん
廿九 ノ つちの のこく ひくく 木 そのうへ今曉うしの二刻八ム忌日ちう日ふく日

六月大 建 己未 昴宿 胃土 よろう

一 ノ うの むま とろ 土 初伏 ● 大ミゆう ふきのりこし
二 ノ うの のひし ころ 大ミゆう
三 ノ ミのえ さる のそく 金

大暑六月中 今曉うしの六刻日の出より日入まで 昼五十八刻余 夜四十一刻半余 六より六まで 昼六十四刻 夜三十六刻
四 ノ ミのえ とり ころ 金 大ミゆう ちいこ すつくりこし
五 ノ きのえ いぬ ころ 火 月とく大ムる地火ゑきりこし
六 ノ きのえ のい さん ちう日くさうりこし

七 ノ ひのえ ね とる 水 きしくきこりしきころの付
八 ノ ひのえ のうし やみ
九 ノ つちの とり あやふ 十 ● ふく日天火ゑきりこし
十 ノ つちの のう ちる 土 天おん月とく ふく日天火ゑきりこし
十一 ノ つうの ころ あさん 天おんめろりん
十二 ノ つうの のこく ひくく 金 中伏 天おん冊倉ちう日めろりん
十三 ノ ミのえ むま とろ 木 ● 天おん
十四 ノ ミのえ のひし ころ
十五 ノ きのえ さる のそく 水 十方ゑれ大大ミゆう 月とく ゆちちこし
十六 ノ きのえ のとり ころ 土 ちいこ
十七 ノ ひのえ いぬ ころ 五ひ日大ムる地火
十八 ノ ひのえ のい さん 大ミゆう 月とくちう日めろりん地火

立秋七月せろいの三刻入日の出より日入まで 昼五十六刻半余 夜四十三刻余 六より六まで 昼六十二刻余 夜三十七刻半余

十九 ノ つちの ね さん 火 ● けんふくやうそこし
廿 ノ つちの のうし とる
廿一 ノ つうの とり やみ 木 末伏 ふく日
廿二 ノ つうの のう あやふ
廿三 ノ ミのえ ころ ちる 水 天一天上 神ゑしふく日天火ちうしゆく
廿四 ノ ミのえ のこく あさん 大ミゆう 冊倉月とく五ひ日ちいこ
廿五 ノ きのえ むま ひく 金 大ムる地火ちう日
廿六 ノ きのえ のひし とろ
廿七 ノ ひのえ さる ころ 火 大ミゆう 冊倉五ひ日ゑきりしゆく
廿八 ノ ひのえ のとり ころ のそく 神ゑしちうしきころの付
廿九 ノ つちの いぬ ミろ 木 ● 冊倉うまめりうさうりこし
ちう日めろりん地火

七月大 建 庚申 畢宿 畢月 よろう

二	一	一	ね	さん	土
三	二	二	ゆゆ	とる	金

ふく日

大ミヤウ月とくうといそつめとりは

處暑七月中むまの八刻日の出より日入まで 昼五十四刻半余 夜四十五刻余 六より六まで 昼六十刻 夜四十刻

四	一	三	あゆふ	金	
五	一	二	なる	火	
六	一	三	あさん	火	
七	一	四	ひく	水	
八	一	五	とる	水	
九	一	六	さる	土	
十	一	七	のそく	土	
十一	一	八	ふる	金	
十二	一	九	ひく	金	
十三	一	十	さん	木	八せんのあたりちう日
十四	一	十一	とる	木	二百十日
十五	一	十二	ゆゆ	水	
十六	一	十三	あゆふ	水	
十七	一	十四	なる	土	
十八	一	十五	ひく	土	

ふく日ふくのりつめとりよし

神よりしらさそののさちよし

大ミヤウ 田倉ちいこ

十 | | |

白露八月せつとりの五刻八日の出より日入まで 昼五十二刻半 夜四十七刻半 六より六まで 昼五十七刻半余 夜四十二刻余

十九	一	一	むま	あさん	火
廿	一	二	ひく	ひく	火
廿一	一	三	とる	とる	木
廿二	一	四	とる	とる	木
廿三	一	五	のそく	水	

ふく日

大ミヤウ月とくうといそつめとりは

神よりしけんふくよし

きしく大ミヤウ多日ちいこふく日

大ミヤウ大ゟ日ちう日

神よりし大ミヤウ天火らうしゆく

田倉月とくいちさちよし

天しやこのうりよし

十 | | |

大ミヤウ天あん田倉ふく日

さいりき天あんちう日めつりん地火

八せんのあたりちう日

神は天あん月とくやさそうとさそは

ふく日ふくのりつめとりよし

神よりしらさそののさちよし

大ミヤウ 田倉ちいこ

十 | | |

大ミヤウ天あん田倉ちいこ

めつりん田かりよし

●

神よりし大ミヤウ行本とりは

大ミヤウ多日ふく日天火らうしゆく

田倉ちいこ

八月小 建 辛酉 觜宿 参水よりし

廿四	一	三	ゆゆ	金	八せんのあたりちう日
廿五	一	四	ね	金	
廿六	一	五	さん	火	
廿七	一	六	とる	火	
廿八	一	七	ゆゆ	木	
廿九	一	八	ゆゆ	木	社日
卅	一	九	とる	土	
二	一	十	ひく	土	
三	一	十一	とる	金	

月とくめつりん

ひうんになる●

神よりしきしく大ミヤウ田かりよし

秋分八月中今夜ねの二刻日の出より日入まで 昼五十刻余 夜四十九刻半余 六より六まで 昼五十五刻余 夜四十四刻半余

四	一	三	とる	金	
五	一	四	のそく	火	
六	一	五	いぬ	火	
七	一	六	ゆゆ	水	
八	一	七	ひく	水	
九	一	八	とる	土	
十	一	九	ゆゆ	土	
十一	一	十	あゆふ	金	
十二	一	十一	なる	金	
十三	一	十二	むま	木	
十四	一	十三	ひく	木	
十五	一	十四	とる	水	

十方それ入大ミヤウ

月そく九分半

いの六刻左と下の右ゆけたしめねの四刻下の左に甚しくうしの二刻下の方におはる

国立国会図書館　タイトル『[南都暦]』 請求記号 本別15-21

ガラス使用

十六 つきのの とり とろ 多 月とくふく日天火らうしゆく
十七 つひのの いぬ のそく 土 毋倉五ぶ日ちゆき
十八 つひのの い ミろ 火 大ミゆう ちう日
十九 つちのの ね ミろ 火 ふく日きこと天火らうしゆく

寒露九月せつ今暁ちの七刻八日の出より日金七 昼四十八刻 夜五十二刻 六より六金七 昼五十三刻 夜四十七刻

廿 つちのの うし とう 火 十 ●
廿一 つちのの うし とう さん 木 ふ多日
廿二 つちのの うし とう 木 大ミゆう五ぶ日ふ多日
廿三 つちのの うし とう やゆる 多 天一天上 ふ多日ちゆきちう日りしきひつしの時
廿四 つちのの こく あゆふ 多 ふ多日
廿五 つきのの むま ちる 金 大ミゆう五ぶ日大ふ多日
廿六 つきのの ひつし おさん 金 ふ多日
廿七 つひのの さる ひく 火 ふ多日
廿八 つひのの とり とろ 火 ふ多日
廿九 つちのの いぬ とう 木 ふ多日ふく日田うりしゆく

九月大 建 壬戌 参宿 井木 よのう

一 つちのの い のそく 木 ちう日ふく日むきまきこと
二 つちのの ね ミろ 土 とよう ちの八刻八きしくきこと天火らうしゆく
三 つちのの うし とう 土 十 ●
四 つちのの うし とう さん 金 ふ多日けんふく田うりしゆく
五 つちのの うし とう 金 ふ多日ふく日田うりしゆく

霜降九月中ミの四刻日の出より日金七 昼四十五刻半余 夜五十四刻余 六より六金七 昼五十刻半余 夜四十九刻余

六 つきのの こく やゆる 火 大ミゆう
七 つきのの こく あゆふ 火 ふ多日ふく日田うりしゆく

八 つひのの むま ちる 多 ふ多日ふく日田うりしゆく
九 つひのの ひつし おさん 多 大ふ多日行事ちう田うりしゆく
十 つちのの さる ひく 土 天しやとのろ川しゆく
十一 つちのの とり とろ 土 ふ多日ふく日ふ多日ちゆきこと
十二 つちのの いぬ とう 金 大ミゆう ふ多日
十三 つちのの い のそく 金 ふ多日
十四 つちのの ね ミろ 木 八せんのちしめ ふ多日は天おんきこと天火らうしゆく
十五 つちのの うし とう 木 ま日 十 ●
十六 つきのの うし とう さん 多 ふ多日ふく日田うりしゆく
十七 つきのの うし とう 多 ふ多日ふく日田うりしゆく
十八 つひのの こく やゆる 土 ま日 大ミゆう月とくむきまきこと
十九 つひのの こく あゆふ 土 ふ多日ふく日田うりしゆく
廿 つちのの むま あゆふ 火 ま日 ふ多日ふく日田うりしゆく

立冬十月せつさるの一刻八日の出より日金七 昼四十三刻半 夜五十六刻半 六より六金七 昼四十八刻半余 夜五十一刻余

廿一 つちのの ひつし ちる 火 大ミゆう月とくふ多のりミそさけろふりは
廿二 つちのの さる おさん 木 ●
廿三 つちのの とり ひく 木 十 ●
廿四 つちのの いぬ とう 多 ま日 ふく日ふ多日ふく日
廿五 つちのの い とう 多 八せんのおそりふ多日ちゆきちう日りしきさるの時
廿六 つきのの ね のそく 金 天しやとのろ川しゆく
廿七 つきのの うし ミろ 金 ふ多日きこと
廿八 つひのの とう とう 火 天おんふく日大ふ多日飛火つめとりしは
廿九 つひのの うし さん 火 天おん天火らうしゆく
卅 つちのの こく とう 木 きしく天おん五ぶ日

十月大 建 癸亥 井宿 柳土 よのう

一 つちのの こく やゆる 木 ふ多日ちう日

国立国会図書館 タイトル『[南都暦]』 請求記号 本別15-21
ガラス使用

二	丁	午	土
三	戊	未	日
四	己	申	月
五	庚	酉	金

小雪十月中いぬの六刻日の出より日入まで 昼四十一刻半余 夜五十八刻余 六ゟ 六まで 昼四十七刻余 夜五十二刻半余

六	辛	戌	火
七	壬	亥	水
八	癸	子	木
九	甲	丑	金
十	乙	寅	土
十一	丙	卯	日
十二	丁	辰	火
十三	戊	巳	水
十四	己	午	木
十五	庚	未	金
十六	辛	申	土
十七	壬	酉	日
十八	癸	戌	月
十九	甲	亥	火
廿	乙	子	水
廿一	丙	丑	木
廿二	丁	寅	金
廿三	戊	卯	土
廿四	己	辰	日
廿五	庚	巳	月

大雪十一月せつ今暁七しの三刻八日の出より日入まで 昼四十刻半 夜五十九刻半 六ゟ 六まで 昼四十六刻 夜五十四刻

廿六	辛	午	火
廿七	壬	未	水
廿八	癸	申	木
廿九	甲	酉	金
卅	乙	戌	土

十月小 建 甲子 鬼宿 張月より

一	丙	亥	日
二	丁	子	月
三	戊	丑	火
四	己	寅	水
五	庚	卯	木
六	辛	辰	金

冬至十一月中うの八刻日の出より日入まで 昼四十刻 余 夜五十九刻半余 六ゟ 六まで 昼四十五刻半余 夜五十四刻余

七	壬	巳	土
八	癸	午	日
九	甲	未	月
十	乙	申	火
十一	丙	酉	水
十二	丁	戌	木
十三	戊	亥	金
十四	己	子	土
十五	庚	丑	日
十六	辛	寅	月
十七	壬	卯	火
十八	癸	辰	水

国立国会図書館　タイトル『[南都暦]』　請求記号 本別15-21
ガラス使用

十九 ひのとのこく 土 十 ちぐさ天火ふりしゆく
廿 つちのとむま 火 ま日 ふかし大きゆふく日うといそまし
廿七 つちのとのひつじ 火 ま日 ふかし大きゆふく日うといそまし

小寒十二月せつむまの五刻八日の出より日入まで昼四十刻半余 夜五十九刻半 六ゟ申 昼四十六刻 夜五十四刻

廿二 りのとさる 木 ま日 ふかし大きゆふく毋倉月とくこそさけろそりは
廿三 りのとのとり 木 ●
廿四 ミのといぬ 水 ま日 八せんのおそうゑ日ちう日
廿五 ミのとのひつじ 水 ●めつのん
廿六 きのとね 金 天しやくろ川しよう
廿七 きのとのうし 金 十 ●
廿八 ひのとのそく 火 天おんよりあとりつめとりこうし
廿九 ひのとのうし 火 天おん

十二月大建 乙丑 柳宿 翼火よのう

ヲ つちのとのこく 木 天おん五ぶ日ふく日大くゑ地火
ラ つちのとさん 木 ちう日ふく日
三 りのとむま 土 月とく
四 りのとのひつじ 土 とまうさるの五刻八大きゆうちといそこうし
五 ミのとさる 金 ●
六 ミのとのとり 金 ●
七 きのといぬ 火 めつのん

大寒十二月中とりの一刻日の出より日入まで昼四十一刻半余 夜五十八刻余 六ゟ申 昼四十七刻余 夜五十二刻半余

八 きのとのい 火 月とくこ日いちうたちくひこうし
九 ひのとね 火 きこちひこ
十 ひのとのひつじ 火 十 ●

十七 つちのとさる 土 ふく日本とりすこしひこうし
十八 つちのとのう 土 大きゆう天おんふく日正月とたちしめこうし
十三 りのとさる 金 天おん月とく大くゑ地火ちうこまうしこうし
十四 りのとのこく 金 天おん毋倉ちう日
十五 ミのとむま 木 地火ちうこまうしこうし
十六 ミのとのひつじ 木 天おん毋倉けんふくこうし
十七 きのとさる 水 天おん
十八 きのとのとり 水 ●
十九 ひのといぬ 土 五ぶ日めつのん
廿 ひのとのい 土 大きゆうちう日正月とたちしめこうし
廿一 つちのとね 火 ふくゑ日きこちひこきこふく日ちうこまうし
廿二 つちのとのうし 火 きこちひこ井ふりこうし

立春正月せついの七刻八日の出より日入まで昼四十三刻半 夜五十六刻半 六ゟ申 昼四十八刻半余 夜五十一刻余

廿三 りのとさる 木 ふく日ちうめこうし
廿四 りのとのう 木 ふくゑ日
廿五 ミのといぬ 金 きこちひこ
廿六 ミのとのこく 金 天一天上 ちう日めつのん地火正月とたちしめこうし
廿七 きのとむま 火 神こうしふく日すこちひこうし
廿八 きのとのひつじ 火 大きゆう五ぶ日ちうこまうし
廿九 ひのとさる 火 神こうし月とく
卅 ひのとのとり 火 十 ●

天保八年出 立表測景定節氣者

国立国会図書館 タイトル『[南都暦]』 請求記号 本別15-21
ガラス使用

12687

国立国会図書館　タイトル『[南都暦]』 請求記号 本別15-21

ガラス使用